

問 带状疱疹ワクチン接種へ助成を

答 国や他自治体の動きを注視する

問 昨年6月議会に带状疱疹ワクチン接種費用への助成を求めた。带状疱疹に罹患した方からは、本当につらい痛みで予防にはワクチン接種しかないが高額であり、接種費助成を求める声があった。費用助成について考えを伺う。

答 带状疱疹ワクチンは、現時点では任意接種である。予防接種法に基づいて行う定期予防接種として追加を検討中で、厚生労働省の審議会などで、ワクチンの効果やその持続期間、導入に最適な対象年齢、ワクチンの比較、



公明党
おかざき さとる 議員

安全性等の検証・評価が進められている。村独自の接種費用の助成は、科学的な知見が得られた段階で検討できると考えている。国の審議会などの審議や評価の結論を待ちたい。今年度茨城県内の4自治体で、带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を開始したことは把握している。予防接種は、接種後の副反応や健康被害が社会的問題になることもある。引き続き国及び他自治体の動向を注視したい。



ワクチンで感染症予防

問 村松軌道展、その意義と反響は

答 関わった人々の思いを伝え残す

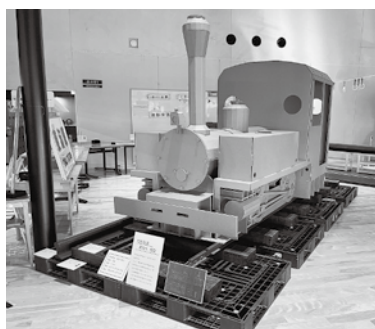
問 歴史と未来の交流館での村松軌道100周年記念企画展を観て、公共交通の発想が民間人にあったことに深い感銘を受けた。開催の意義、反響について伺う。

答 村松軌道は大正15年から昭和8年までの7年間、村を走った鉄道である。平成31年に東海駅西口の建物の骨組みとして使われていた村松軌道のレールが発見され、企画展では、村松軌道のレールのほか、国立公文書館から借用した会社設立届出等の



新政とうかい
ますい ふみお 議員

文書や設計図を基に原寸で復元した機関車模型を公開し、村松軌道や関わった多くの人々の歴史や思いを後世に伝え、残すことができたと考えられる。8月末時点で、村内のほか遠方からも延べ9176人の方に来場いただき、「東海駅から阿漕ヶ浦まで走った鉄道があった事を初めて知った」や「村松軌道の姿を初めて見て感動した」、「家の後ろを走っていた鉄道の歴史を知ることができた」など多くの反響があった。



原寸で復元した村松軌道機関車模型